

おかえり

ひきみとつながる。
UIターン情報誌2021.10月

特集

◆慣れ親しんだ匹見へ夫婦でUターン
前田健勝さん・美智子さん夫妻

◆匹見のホットな話題

◆交流から滞在、そして定住へ

- 民泊・日帰り体験
- 田舎体験・ボランティア
- 田舎暮らし体験施設
- 就業支援・住まい
- 空き家に関する各種事業

慣れ親しんだ匹見へ夫婦でUターン

前田健勝さん・美智子さん夫妻

「いらっしやいませ」。自動ドアが開くと、穏やかな笑顔とともに、柔らかな出迎えの声がかウンター越しに届く。令和2年6月にリニューアルオープンした「匹見峡温泉やすらぎの湯」の受付に立つ、前田健勝さん(69)と美智子さん(66)夫妻。終の棲家を求め、健勝さんの故郷・匹見へ居を移して2年。仕事にも慣れ、顔見知りも増えた。幼い頃から慣れ親しんだ匹見の自然に抱かれ、帰省のたびに通っていた匹見峡温泉で働けることに喜びとともに感謝をしている。

50年ぶりの帰郷 手厚い歓迎

景勝地、前匹見峡に程近い益田市匹見町和又集落に生まれた健勝さん。前匹見峡の淵で泳いだり、友達と稲刈り後の田んぼで三角ベースをしたり近くの山に登ったり。匹見の自然が遊び場だった。兄の背中を追い、高校卒業後は航空自衛隊へ入隊。山口県防府を皮切りに、福岡、埼玉、北海道、東京、岐阜など、全国各地に赴任。定年退職後は、長野県内の企業で10余年働いた。終の棲家を求め、美智子さんの故郷、和歌山県か匹見かで一考した末に、健勝さんの従兄に探してもらった空き家を購入し、令和元年8月に匹見へ移住した。

匹見が出身地とはいえ、50年ぶりの帰郷で、知っている人も高齢

化し、顔馴染も少なかった健勝さん。都会生活が長かった美智子さんも、ジュース1本、手軽に購入できる店が少ないことに、都会生活との「ギャップを感じた」という。

そんな中、移住早々、健勝さんの親戚から手厚い歓迎会を開いてもらった。毎夕、夫婦で散歩をすれば、道行く人に声をかけてもらい、話をするようになり、顔馴染みになった。縁が広がっていくのは心強かったに違いない。

白羽の矢

一献傾け、皆で話をしたり歌ったりするのが好きな2人は、従兄の紹介で、町内にある宿泊施設を備えた食堂「大将」に通うように

なり、顔馴染みも増えた。美智子さんの屈託のない接し方は、常連客から「面白い」「明るい」と気に入られ、飲み会にも声がかかるようになった。

そのころ、休館していた匹見峡温泉が、令和2年1月から一時営業再開することになり、益田市から管理・運営業務を受託した「匹見峡温泉の会」の河野克正会長(73)から、「夫婦で受付をしてみん？」と声がかかった。

盆、正月と、匹見へ帰省するたびに匹見峡温泉に通っていた二人。休館したときには、「がつくりきた」が、一時的とはいえ「再開は嬉しかった」。迷わず依頼を買って出た。河野会長曰く「接客は笑顔が肝心。人懐っこい前田さん夫婦が真っ先に浮かんだ」という。

コロナ禍での船出

令和2年6月、新しい指定管理者の下、匹見峡温泉がリニューアルする際、一時営業時の経験が買われ、2人は温泉に勤務することになった。週5日勤務で、共に受付に立ち、合間には清掃を行う。



前田さん夫妻

匹見のホットな話題をお伝えします。

●匹見峡温泉 お食事処 ランチ営業スタート

地元食材を使った料理が盛り付けられた小鉢がずらりと並ぶ、見た目にも美しい定食や、うどんとそば（各山菜、ごぼう天）などを提供。「うどんとそばは、各素材を綿密な配合で出汁を引いており、最初の一口はそのまま味わってほしい」と料理長。

【お食事処】

営業：11時～14時（13時30分ラストオーダー）

匹見峡温泉やすらぎの湯

住所：益田市匹見町匹見イ713

電話：0856-56-1126

定休：月・火曜（定休日が祝日の場合は営業）



●「森とうどん」オープン

匹見峡レストパークの元食堂にオープン。うどんは、温かいうどんとぶっかけうどんの2種。トッピング（天ぷら、揚げ、牛肉）もできる。店主の森當渉さん曰く「コシの強いうどんを選びすぐり、だしや塩にもこだわった渾身の一杯」とのこと。おむすび各種や一杯ずつ豆から挽いた珈琲も提供しており午後の打ち合わせ場所としても利用できます。

住所：益田市匹見町匹見イ853-3

電話：070-4218-8071

営業：11～15時（14時30分ラストオーダー）

定休：水曜



森當さん夫妻

●グラウンド・ゴルフ場リニューアル

今年4月、匹見中央公園のグラウンド・ゴルフ場（8ホール）の人工芝が張り替えられ、リニューアルしました。三密を避け、時間を忘れて、気軽にスポーツを楽しむことができます。無料で用具レンタルできます。

【利用情報】

使用時間：8時30分～17時

使用料（1日あたり）：大人210円・中学生以下100円

匹見中央公園

住所：益田市匹見町匹見イ1101

電話：0856-56-1175

定休：月曜



●珈琲片手に紅葉を楽しんで！

匹見峡レストパークのバーベキューハウスで、10～11月の土日（13～17時）限定で珈琲のテイクアウトを実施しています。珈琲片手に匹見峡を散策し、紅葉をお楽しみください！

匹見峡レストパーク

住所：益田市匹見町匹見イ853-3

電話：0856-56-0341

定休：水曜



匹見峡レストパークで体験イベントが開催されます！

★都会で大人気 テラリウムワークショップ

裏匹見峡で自然観察をした後、専用のガラスの中に石や土を入れて土台を作り植物を植栽します。完成品は持ち帰り、好きな場所に飾って育てることができます。

開催：11月3日／時間：13～15時／参加費：4000円／定員：10名

申込：0855-52-7214（いわみん事務局、平日10～17時）

★プレゼントにも最適 クリスマスリース作成

松ぼっくりやモミの木の葉など、裏匹見峡を散策して集めた素材を使いクリスマスリースを作ります。クリスマスまで玄関に飾ってもよし、プレゼントにも最適です。

開催：11月28日、12月12・19日／時間：13～15時30分／参加費：2500円／定員：10名

申込：0855-52-7214（いわみん事務局、平日10～17時）



折しも、コロナ禍と重なり、その対応に追われることに。「当初は、お客様に連絡先などの記入をお願いしたり、検温をしたり、慣れないことだらけでした。お客様への接し方にも気を使いました」と、美智子さんは振り返る。

匹見峡温泉の指定管理を担う三光ビル管理株式会社の山本洋樹（ひろき）

業部長(52)は、「コロナ対策の仕事も増える中、さすがご夫婦だけあって、阿吽の呼吸で作業をしていただいています」と喜んでいる。

仕事もプライベートも

移住から2年。「あつという間に時間が過ぎた」。大寒波の際には、近所の人に雪かきをしてもらい、「とても助かった」という。

匹見峡温泉は、入浴のみのリニューアルオープンだったため、一日も早い食堂の再開が望まれていたが、9月5日にランチ営業も始まった。「温泉だけでなく、食事も目当てにお越しいただきたいです」。仕事もプライベートもいつも一緒に仲良し夫婦は、そうPRすると、にっこり笑った。

～交流から滞在、そして定住へ～

まず暮らしキャラクター



ぐりお わさまる ゆずりん

ちょこっと匹見を体験したい方は… (令和3年9月末現在の情報です。)

◇民泊



みよし
民泊「三四四」

- 体験内容
料理体験（押し寿司、巻き寿司、郷土料理「うずめ飯」、手打ちそば、餅）、布ぞうり作り等
- 料金
1泊2食付7,000円（食事は共同調理）※体験料は別途必要
- 住所・連絡先
益田市匹見町道川イ214 tel/fax 0856-58-0020（三好）

◇日帰り体験



うつだに
「内谷とちの郷」

- 体験内容
料理体験（わさび漬け、こんにゃく、とちもち）、わさび収穫体験
- 料金
直接お問い合わせ下さい。
- 住所・連絡先
益田市匹見町石谷口561 tel/fax 0856-56-0589（村上）

◇田舎体験・ボランティア

【田舎体験】

匹見町では、豊かな自然を生かした体験をはじめ、「田舎料理体験」や「ものづくり体験」、「収穫体験」「歴史・文化体験」などを楽しむことができます。



わさび収穫体験

【ボランティア】

少子高齢化が進む匹見町では、集落内の共同作業やイベント開催などが年々困難になっています。そこで、地域外の方にボランティア会員登録をしていただき、軽度の作業に携わってもらうことで、田舎と都市との交流を図っています。



ブルーベリー摘み取り作業

もっと匹見に滞在したい方は…

田舎暮らしの体験や、農林業またはその他の産業に関する技術や経営ノウハウを習得するために滞在可能な施設として、期限つきのお試し施設「益田市立田舎暮らし体験施設」を開設しています。

《使用者の条件》

- (1) 益田市への移住を強く希望し、田舎暮らしを体験しようとする人
- (2) 農林業その他の産業に関する技術や経営ノウハウの習得のため研修を受けようとする人

《使用期間》

1ヵ月以上3年以内

《使用料》

令和3年9月末現在

| 施設区分 | 戸数(空き戸数) | 使用料(月額) |
|----------|----------|---------|
| 単身用(1DK) | 2(0) | 8,100円 |
| 世帯用(3DK) | 2(2) | 16,000円 |

※1部屋に1台分の駐車スペースを用意しています。

《使用について》

施設の使用については、市長の許可を受ける必要があります。使用希望の人は、「田舎暮らし体験施設使用申込書」を下記までご提出下さい。

(空室状況等詳しくは、益田市のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせ下さい。)



匹見への定住をお考えの方は…

◇UIターン相談窓口

匹見への移住をお考えの方のために、相談窓口を設置しています。困ったことや分からないことがあれば、お気軽に下記窓口まで、ご相談ください。

◇住まい

空き家や公営住宅をご紹介します。

//// 空き家に関する各種事業 ////

空き家バンク制度

益田市は、空き家の有効活用とUIターン希望者の定住促進を図るため、「空き家バンク制度」を創設しています。この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、UIターン希望者にそれぞれ登録してもらい、総合支所が窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。

年々、田舎暮らしを強く希望する方々が増えています。匹見町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸し住宅にしてもいい」「売却してもいい」とお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

益田市空き家改修事業

「空き家バンク制度」の住宅を利用して定住する場合、その住宅を改修した際の経費の3分の1以内(上限30万円)を①空き家の購入者または入居者(UIターン者に限る)、または②UIターン者と賃貸借契約を締結した空き家の所有者に補助します。ただし、経費の額が30万円以上であるものに限りません。

※この他にも、空き家や住宅に関する補助制度があります。

◎ 定住・UIターンに関する問い合わせ先

益田市匹見総合支所 地域振興課
〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260

電話 0856-56-0300 FAX 0856-56-0362
ホームページ <http://www.city.masuda.lg.jp/teiju/>